

令和3年度**財政中期計画**

※R3.10月時点の試算

総合政策課 財政係

1. 一般会計年度別財政見通し

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
基金現在高計(百万円)	1,137	1,360	1,545	1,370	1,175	785
財政運営基金	706	766	916	771	626	376
減債基金	230	279	279	239	199	109
特定目的基金	201	315	350	360	350	300
経常収支比率	91.6	96.6	97.6	101.3	103.7	105.0
実質公債費比率	9.9	10.3	11.3	11.4	11.5	11.7
将来負担比率	57.5	41.7	58.0	73.0	88.0	98.0
実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし
連結実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし

2. 大規模事業の考え方

投資的事業計画をベースに単独事業費1千万円程度を上乗せ。

中央公民館解体は含んでいない。

R5: **ホットハウス改修 6億2千万円**

R4、5: **金山小プール改修 1億円**

R4 : **町民グラウンドナイター照明改修3, 700万円**

R7、8 **大規模ほ場整備 各8千万円**

R7、8 **中学校大規模改修1億4, 500万円**

3. 年度別財政見通しのポイント

① 全体的な見通しは厳しく、さらに工夫と改善が必要です。

- ・ 経常経費の割合が一般財源に対して過剰な状態
- ・ R4以降は基金の取り崩しが必要
- ・ 令和8年度前後に基金が枯渇する可能性がある

→ 早期健全化団体指定も見えている危険な状況
「令和3年度内に健全化へ軌道修正をする」

3. 年度別財政見通しのポイント

② 経常収支比率の改善が財政状況を好転させるポイントです。

「全体的な事業費が**歳入規模**に合っていない」

→ **2億円の一般財源の抑制**が必要と試算
= 8%の改善

= 基金残高の回復、地域経済循環事業

3. 年度別財政見通しのポイント

③特別会計への繰出金の抑制が必要です。

- ・診療所経営の赤字補填が多額になっている状況。
- ・介護サービスを受けている人が多い状況。
介護予防事業が介護給付費の抑制につながる。

3. 年度別財政見通しのポイント

④人口規模に合わせた公共施設数への見直しが必要です。

- 「公共施設等総合管理計画」を見直し中。
- 全体的な施設機能の集約化により維持管理経費の抑制が必要。
- 20年後の人口は約3割減の見込み。交付税が2億5千万円減。

3. 年度別財政見通しのポイント

⑤起債の償還は令和9, 10年度にピークとなる見込みです。

・R2より、R9年度は償還額が8,000万円の増加

→ 恒常的な財源不足の状態では耐えられない。

「償還財源の確保と事業の実施について
見直しが必要」

4. 財政健全化に向けて

令和3年度に重点的に見直し進めている3つの項目

「新陳代謝のR3～令和を生き抜く持続可能なまちづくりを～」

- ・公共施設の機能集約化(利便性の向上と維持費の軽減)
- ・中央公民館の在り方
- ・グリーンバレー神室一体の在り方

「健全化＝経常経費の削減」
「収入力に合わせた事業展開」